

令和2年度 2月定例教育委員会会議における協議事項について

協議事項(1)「奈良市の目指す教育について

～次期奈良市教育振興基本計画(案)について～

◆ 協議概要

これまでの協議の指摘を反映した「教育振興基本計画(案)」を作成し、第5章の基本方針2、3に係る各課の施策内容について協議を行った。

◆ 発言概要

- 現状と課題については、「本市について～」と明確に設定されていることが望ましい。
- 施策について、「～を目指す」という努力目標ではない表現にすること。
- PDCA サイクルを文章に落とし込むことは難しいと思うが、各課が意識して検証可能なことを念頭に作成すること。
- 学校における携帯電話の取扱いに関するガイドラインを情報モラル教育と併せて見える形にするのはどうか。
- 教員の業務の見直しを行った前提での外部人材の派遣という展開の方が良い。外部人材を入れたら業務が軽くなるというのは安易な考えである。教員の業務改善の最優先のニーズを捉えなければならない。
- これまでのいじめサミットの取組やSTOPit、脱傍観者の取組など、子どもたちがこれまで行ってきた取組をしっかりと捉えて、それらをさらに発展させる施策の書き方にすべきである。
- 虐待の早期発見について、奈良市子どもセンターとの連携を入れるかどうかを含めて検討が必要である。
- 施策について、項目ごとに区切られているのではなく、多くは互いに関連した施策であることを示すことができないか。
- 施策について、どのように取組むのか形や方法を述べるだけでなく、どこまで届けるのか質や内容を入れ込むことが必要。
- 現在の行う事業の趣旨説明だけでなく、5年間に実現することの柱が実施事業において特徴的に見えてくる記述になるとよい。